

日刊 動労千葉

79.3.12
No.号外

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八〇九・(公巻)四三三二七二〇七

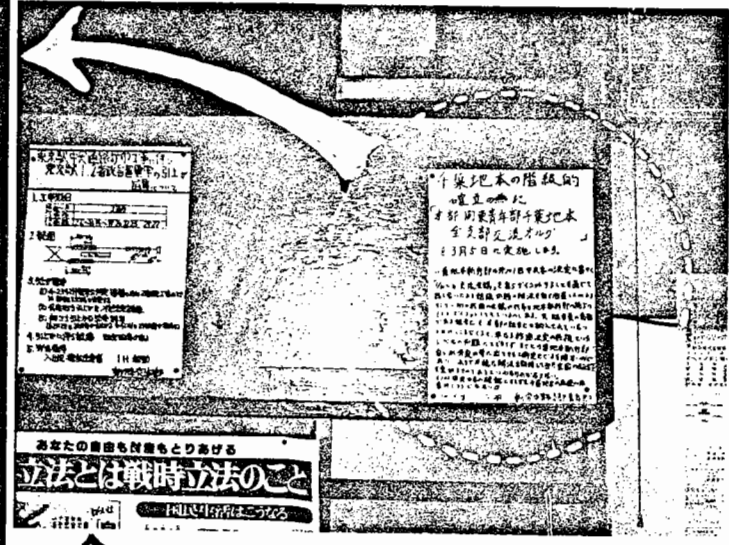


これが革マルによる 動労私物化(組合ひきまわし) の実態だ!

千葉地本の階級的
確立の為に
「本部 関東青年部 千葉地本
全支部交流オルグ」
を3月5日に実施します。

千葉地本執行部は才101回中央委の決定に基づき「70~80交流会議」を自らボイコットすることを通じて話し合いによる組織問題の解決を自ら放棄したのであるとして一切の機関の会議や行事を地本執行部の指図のもとにボイコットしてきているのである。又組合員の義務である組合にも本部の組合とは納入されていなくなり、もはやこまびくると、単なる「無視」というレベルの問題として、千葉地本執行部自身が分裂の考に出ていると断定しても過言はないのである。これまで平穏な解決を期待する全国の組合員を裏切るものである。1/02回定中委の確立を千葉地本の再建の爲奮闘しようではないか

●地本集合 8時



中野支部(東京地本)の組合掲示板。右スミに、問題の「青年部指示」が、3月4日昼すぎ、突如、貼られた。

三月四日、午後、動労東京地本。中野支部掲示板に突如として、左の写真のような「千葉地本再建」本部関東青年部オルグ」なる掲示がはり出された。東京地本の他のいくつかの支部でも同様の掲示が出されたことが目撃されている。

第一〇二回定中委で「千葉地本執行権停止」を目論んで果せず大敗北した革マルと一部反動分子は、一二月以降

一体、誰が『さくら千葉破壊オルグ』の指示を出したのか!? 本部、関東は答えず!!

のさまざまな千葉地本排除・破壊策動の破綻につぐ破綻にあせり「執行権停止に備える」なるベテラン的一〇二定中決定をもって、またしても「本部指令なし」機関決定逸脱の「千葉地本破壊オルグ」をデッチ上げたのである。ただちにとられた一四〇〇名の総決起体制、千葉地本の毅然たる対応と自分たちの足元から噴出した不信、不満によって、この反動分子の策動はグズグズとなり、実際には「東京地本八時集合」すらできず、完全に破産してしまつたのである。

はつきりと証明された千葉地本の正義性。

この策動は「執行権停止」が決定できず大敗北した「一〇二定中」への彼らのあせり敗北の本音をさらけ出したものだ。われわれは、これを許すことにはできない。一体、いかなる機関で決定し、誰の責任においてこれが指示されたのか。

「本部・関東青年部オルグ」と明記されている以上、中央本部・関東地評は、責任をもって事態を明らかにすべきである。城石・本部組織部長は「知らなかった」と言っているが、事実がここまで明らかになつた以上「知らなかった」ですまされる問題ではない。

全国の仲間の皆さん、わが千葉地本の「二。一〇臨大・四大方針」「五項目の解明要求」の正義性は今や明白である。革マル派による動労私物化を完全に粉碎して労農連帯・合理化・春闘勝利に向って共に進もう。今こそ動労大改革運動に総決起しよう。